

| | | | |
|----------------|--|--------------|------------|
| 授業科目名 (英文名) | 合成・バイオ特別セミナー (Seminar in Synthetic Chemistry and Biochemistry) | 科目区分 対象学生 | |
| 単位数 | 2.00 | 開講年次・ 学期 | 1、2、3年次・後期 |
| 担当教員 | 川月 喜弘 中村 光伸 高田 忠雄 西田 純一 | 所属 | 工学研究科 |
| オフィス・場所 | | 連絡先 | |
| 講義目的及び到達目標 | 本講義ではますます高度化機能化する多くの有機分子について、合成や実際の応用を取り上げ解説する。 最新の有機材料化学の研究動向にふれ、研究者としての必要な素養を磨くことを目標とする。 | | |
| 講義内容・授業計画 | <p>科目の位置付け、教育内容・方法</p> <p>近年、地球温暖化、資源の枯渇、環境問題など、人類の生存に関わる重大な問題が顕在している。このような状況のもとに有機化学の考え方も大きく変わってきている。上記の課題に立ち向かうため有機化学の基本原則を再確認し、一般的な有機分子の効率的合成や機能化について解説する。</p> <p>授業計画 (オムニバス方式) (川月喜弘教授) 光・電子機能性材料：光や電子の機能性高分子材料における合成法や物性を原著論文を基にして解説する。 (西田純一准教授) 低分子共役材料：構造が明確な共役系の大きな芳香族分子の合成と機能を原著論文をもとに解説する。 (中村光伸准教授) 生体関連材料：機能部位を修飾したDNAについての最新の研究動向と展開について解説する。 (高田忠雄准教授) 生体超分子化学：生体分子を対象にした超分子化学とその応用に関する最新の研究論文を解説する。</p> | | |
| テキスト | プリント | | |
| 参考文献 | | | |
| 成績評価の基準・方法 | レポート | | |
| 履修上の注意・履修要件 | <p>新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業</p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定 ・連絡します</p> | | |
| 実践的教育 | 該当しない | | |
| 備考 | 本学の配布資料を参照してください。 | | |